

01

「島の住民たちは私たちに、ひとかたならぬ親切を示してくれた」

(使徒言行録28章2節)



親愛なる日記、
今日学校に向かう途中、
お母さんに付き添われている
車いすの男子を見かけた。

そのお母さんから声をかけられ、食堂まで息子連れて行って欲しかった。小さな愛の行いをするチャンスだなあと思ひ、すぐに承諾した。ちょうど自分もそっちの方に行くことだったし。その子と一緒に昼を食べ、趣味や個人的なこととかを話したりして、自然に友だちになった。

話したりして、自然に友だちになった。

彼の名はルイス。

ひどい事故に遭い、
入院～療養生活のあと、
一年ぶりに学校に
戻ったとのことだった。

SNSのアドレスを交換して、
やりとりしているうちに、
たくさん共通点があるのに
気がついた。

今日はルイスとナイスな一日を過ごした。
あれからいつもお昼を一緒に食べるようになり、
良い関係を築いている。僕はルイスに、
いのちの言葉のグループで仲間たちとやっている
ことを話した。

地元で一緒に、福音のみ言葉を

実践するほかの仲間たちに

紹介するために、ルイスも集まりに誘った。



土曜日、公園で

1) 今月のみ言葉は、2020年1月に催されるキリスト教一致祈禱週間のためにマルタ島の諸キリスト教会の方々から提案された使徒言行録の一節です。

今日もルイスとの関わりをもっとよく生きようと努めた。町中を回って、ルイスのお母さんへのプレゼント探しを手伝って、家に送った。そんなことも、一緒に過ごすいいチャンスだから。

ルイスは今日何やら凹んでいたの、僕は午後の用事を放り出して、彼に付き合っって耳を傾けた。

明日はグループの仲間たちと、
ルイスも一緒に先週の土曜のように
公園に散歩に行くことになっている。

カルロス

今日：相手の心配を自分のものにしてしよう！



今月のいのちの言葉を生きる
助けになるキアラ・ルビック
の言葉を、書き写した。

「イエスは、愛するとは、
相手をありのまま受け入れる
ことだと、自らの行動で
示してくれました。イエスも
私たち一人ひとりをそのよう
に受け入れてくれました。
相手の好みや考え、
欠点や違いも、すべて
あるがままに受け入れる
ことです。

心の中にありがちな
警戒心や偏見、拒絶
本能を取り除き、受け
入れるためのスペース
を心の中に作る。

私たちが隣人を受け入れようと努力するときほど、神様に大きな栄光を与えることは他にありません。それによって兄弟的な交わりの土台が築かれるからです。人々の間に真の一致が築されること以上に、神に多くの喜びを与えるものはないのです。

一致は私たちの間にイエスの存在を招きます。このイエスの存在は、あらゆる物事を変えていく力があります。

だから、心を尽くしてこの人を受け容れよう。たとえ時間がかかっても、この人との間に相互愛を実現しよう、という望みをもって、すべての隣人に近づきましょう。」
2

キアラ



2020年1月ティーンズいのちの言葉
<http://wordteens.focolare.org/ja/>



一致をめざす少年少女
(Teens4Unity)
国際事務局による編集